



科学の眼

まなこ

発行: 姫路科学館 (〒671-2222 姫路市青山 1470-15 電話: 079-267-3961)
<https://www.city.himeji.lg.jp/atom/>

生物シリーズ

観察・採集・飼育の記録

姫路市のハエトリグモ (2021年)

The record of jumping spiders found in Himeji

姫路科学館 学芸・普及担当 松本 万尋

人家にも現れぴょんぴょんとジャンプすることで知られる身近な生き物、ハエトリグモ。大きな丸い目で周りを見回す愛嬌たっぷりの姿が印象的な、古くから人に親しまれてきた動物です。今回は2021年に姫路市内で観察できたハエトリグモ類の記録をお伝えします。

■ハエトリグモ科 (Salticidae)

「ハエトリグモ」はハエトリグモ科に属するクモ類の総称です。世界で約6,300種以上、国内でも110種以上が命名されている、クモ目の中で最も種数が多い分類群です。姿が多様で、驚くほど鮮やかな体色を持つ種や、変わった体型の種が数多く存在します。

クモ類は、網を張って獲物を待つ「造網性」のグループと、歩いて獲物を探す「徘徊性」のグループに大きく分けられます。ハエトリグモは徘徊性で狩りに使う網は張りませんが、足場から落下した時の命綱や、休息や子育てに使う小さな巣の材料として糸を使います。また、ハエトリグモは非常に優れた視力を持ちます。クモ類の多くは視力が悪く主に振動や匂いで獲物や異性を認識しますが、ハエトリグモは大きな目で周りの状況を確認することができます。物の形や動きをよく観察して攻撃・逃走・求愛などを行う判断をしており、人やカメラが近づいた時にじっと見つめたり、PC画面のマウスポインタを獲物と勘違いして追いかけたりと、人が親しみを感じるような面白い行動をとることもあります。視覚的な求愛行動も見られ、オスはメスへのアピールとしてダンスを踊ります。腕前次第では恋に破れるばかりでなく相手に食べられてしまうこともある、命がけの求愛ダンスです。



図1. ヨダンハエトリ (オス)



図2. アオオビハエトリ (メス)



図3. ヤバズハエトリ (オス)

■ハエトリグモの採集・観察

ハエトリグモは身近な環境で出会える動物です。建物の壁や石垣、柵、手すりなど、人工物の表面を探すだけでも様々な種が見つかります。他にも捕虫網で草木の葉をかすめる「スウィーピング」や、草木の枝葉を叩いて落下物を下に構えた捕虫網で受ける「ビーティング」といった手法でも見つけれられます。採集や観察の際は、クモの体が傷つかないように優しく扱きましょう。透明な小型ケースにそっと追い込んで捕らえると観察しやすくなります。100円ショップなどでも入手できるスマートフォン用マクロレンズを使うと、写真や動画を撮りながら手軽に細部を観察できます。

同定を正確に行うには成熟個体の生殖器を観察する必要がありますが、大まかな外観からある程度は種を調べられます。ハエトリグモを見つけたら、国内のほとんどの種が掲載された「ハエトリグモハンドブック」(※)などでぜひ調べてみてください。

※ 須黒達巳(2022年)『ハエトリグモハンドブック増補改訂版』(文一総合出版)

■姫路市内のハエトリグモ

表1. 2021年ハエトリグモ出現状況(姫路市)

姫路科学館を中心に姫路市内で調査を行ったところ2021年1～12月の期間に21種86個体のハエトリグモを発見できました。ほとんどの個体は建物の壁といった人工物の上で見つかり、他に草地のスウィーピングなどでも採集されました。

特に発見数が多かった種はヤガタアリグモ(18個体)とアオオビハエトリ(13個体)で、どちらも全個体が

和名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
ネコハエトリ								1			1		2
マミジロハエトリ				3		1	2			3			9
ウデブトハエトリ										1			1
アダンソンハエトリ						1		1		1		1	4
エキヌハエトリ						1							1
ヨタンハエトリ				1	1								2
ヤハズハエトリ										1			1
シラゲハエトリ								1	1				2
ヤガタアリグモ			2	1	1	2		2	3	4	3		18
ヤサアリグモ				1		1				1			3
アリグモ			1					1			1		3
チャイロアサヒハエトリ											1		1
キアシハエトリ					1								1
メスジロハエトリ					1								1
チャスジハエトリ				1			1	1	1	2			6
ミスジハエトリ					2		2	4	1				9
イナズマハエトリ								2					2
ヒメカラスハエトリ					1								1
アオオビハエトリ			1				9	1	1		1		13
ヒトリコゲチャハエトリ				2									2
シラホシコゲチャハエトリ				3			1						4
個体数	0	0	4	11	8	15	6	14	7	13	7	1	86
種数	0	0	3	6	7	6	4	9	5	7	5	1	21

姫路科学館で見つかりました。姫路科学館では18種68個体を採集でき、狭い範囲に多くの種が生息していることがわかりました。

今後も調査を継続し、姫路市内にどのような種が分布しているか詳しく調べていきたいと考えています。

📷 本調査では25個体の生体や写真を提供いただきました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

■ハエトリグモを展示中!

姫路科学館では、身近な小動物であるハエトリグモに親しんでもらえるよう、2021年3月から館内で生体展示を行っています。準備期間を含め2020年9月～2022年3月に19種44個体を飼育し、平均で約71日、最長で259日(アオオビハエトリ♀)の間、行動を観察できました。

ハエトリグモたちを毎日観察していると、休息用の巣や卵嚢を作る様子、飲食の様子、求愛行動など様々な姿を見せてくれます。ご来館の際には、1階エレベーターホールに設置している「ハエトリグモのマンション」をそっと覗いてみてください。



図4. 生体展示「ハエトリグモのマンション」(姫路科学館)